

●親愛なる町民諸氏に訴ふ!!!

親愛なる町民諸氏私等三菱の工場に働く労働者が、今回會社に歎願書を提出しました理由に、付いては種々に傳えられ色々な流言もあるでしよう。けれども、賢明なる町民諸君は、私等職工の今日迄の奴隷にも劣る、惨めな生活をよく御存じの事と思ひます

- (一) 日給平均額、九拾錢
- (一) 米一升四拾七錢として二十六錢の補助
- (一) 特別賞及普通賞與一日二十九錢
- (一) 一ヶ月平均收入參拾九圓拾五錢
- (一) 一日十一時間又は十二時間以上を一ヶ月休み無しに働いても四拾圓に足りない

のです。これで、一家五人の者が生きて行く事が出来るでしようか。物價は益々騰貴する、會社は不景氣を言實に労働條件を低下し收入は益々減つてゆくけれ共、私等は隱忍自重して參りました。

もう今日では生活でなく生きて行く事すらも、困難になり辛抱がでさなくなりましたのです。其れに反して會社は今年度上半期純益金一割五分餘り(六拾貳萬圓餘)繰越金五拾萬圓餘を得て居ります。それにも關らず労働者はなぜ生活に苦しむのでしよう。そのみでなく諸君も御存知の様に、私等従業員一同は相互扶助と福利増進の爲に、工友會を組織して參りました。

今回會社は不當にも徴々たる事を言實に、幹部を解雇したのでです。我等労働者が解雇される事は死刑の宣告も同様です。何にが爲に今日迄温情主義を唱える會社が、斯の如き暴舉に出たのでしよう。

それはいふまでもなく工友會をツアサンとして、斯の如き暴舉!!! 壓迫!!! 迫害!!! を以つて、したのでです。賢明なる町民諸君お考え下さい。

散髪屋、うどん屋等同一商業の人々にも組合をつくつて自分の利益を擁護してゐると同様に、今の世の中で誰れ一人助けて呉れるものゝ無い労働者は、労働者自身が組合を造つて福利の増進を計る事は、働く者に與えられた當然の權利であります。

今や我が國に於ても政府は労働立法を制定して、労働組合を法人組織として認めんとしつゝある今日、時代の進行に逆行して労働者に會社は挑戦したのであります。諸君も御存じの様に決して私等はこれを好むものではありません。

此の生活のどん底の苦しみ!!! 人として認められず、壓迫と迫害!!! 我等に與えられるものは、飢と死!!! 私等も人間である以上、人間として生きる爲に今回會社に歎願書を提出したのであります。

今回の問題は私等から起したものでなく會社から斯の如くなさしめたのであります町民諸君よ、私等労働者のよくなる事は、町の繁榮であり永久に町が發達することでありませぬ。

親愛なる町民諸君の御批判を乞ひ、あはせて御同情を乞ふ。

大正十四年八月廿五日

高砂三菱製紙株式會社
從業員 同